



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東  
コード番号 6882 URL <https://www.sansha.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 元  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 丸山 博之 TEL 06-6321-0321  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,628	△15.8	209	△81.4	323	△72.4	126	△84.6
2024年3月期中間期	13,812	7.0	1,127	266.5	1,174	364.5	827	515.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △95百万円 (-%) 2024年3月期中間期 1,336百万円 (89.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	9.55	—
2024年3月期中間期	62.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	32,050	23,800	74.3	1,789.48
2024年3月期	35,334	24,432	69.1	1,837.05

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 23,800百万円 2024年3月期 24,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期の期末配当金には、普通配当35円のほかに「創業90周年記念配当」5円が含まれております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△17.8	400	△88.3	500	△85.6	350	△88.2	26.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	14,950,000株	2024年3月期	14,950,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,650,022株	2024年3月期	1,650,022株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	13,299,978株	2024年3月期中間期	13,299,978株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が以下のとおり含まれております。

2024年3月期：123,000株      2025年3月期中間期：123,000株

また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2024年3月期中間期：35,143株      2025年3月期中間期：123,000株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国は比較的堅調に推移したものの、中国は長引く不動産市況の低迷が景気回復を遅らせ、さらに、中東情勢などの地政学リスクの高まりもあり、先行きに対する不透明感は強まっております。国内は所得環境が改善に向かっているものの、エネルギー価格の高止まりなどによる物価高が個人消費に影響を与えています。また、設備投資の動きに活発さは見られず、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、当社グループは当連結会計年度から2027年3月期までの中期経営計画「CF26」をスタートいたしました。この中期経営計画は「パワーエレクトロニクスと創造力で、社会を前進させる。」という当社グループのパーパスに基づき、ビジョンである「Global Power Solution Partner」の実現に向けて、事業戦略、サステナビリティ戦略、財務戦略の3つの柱を掲げ、事業成長と収益性向上に取り組んでおります。カーボンニュートラル実現に向けた新製品開発の企画、国内外のパートナーとの連携強化、製品設計の標準化など営業と製造の両面での取り組みに着手しております。しかしながら、主要な施策の成果については時間を要するものが多く、当中間連結会計期間においては、以下のセグメント業績で示すとおり、それぞれの事業環境が業績に影響を与えることとなりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は116億2千8百万円（前年同期比15.8%減少）となりました。営業利益は2億9百万円（前年同期比81.4%減少）、経常利益は3億2千3百万円（前年同期比72.4%減少）、親会社株主に帰属する中間純利益は1億2千6百万円（前年同期比84.6%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （a）半導体事業

当事業におきましては、前連結会計年度から続くユーザー各社の在庫調整局面が長引いていることを背景に厳しい状況となりました。パワーモジュールでは、汎用インバーター向け、エアコン向けやFAサーボ向けなどの需要が減少し、パワーディスクリートでは民生用の白物家電向けや温水便座向けなどのあらゆる製品群が減収となりました。地域別では、北米地域を除く海外および国内が減収となりました。特に国内は、需要が活況であった時期の反動の影響もあり、減収幅が大きくなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、29億7千1百万円（前年同期比30.1%減少）となりました。セグメント利益は、経費の削減に取り組んでまいりましたが、大幅な減収および製品構成の変化による収益性低下による減益をカバーできず、3億1千8百万円の損失（前年同期は4億2千1百万円の利益）となりました。

#### （b）電源機器事業

当事業におきましては、半導体や電子部品などに使用される素材関連と、建材などに使用される鉄鋼関連を中心に一般産業用電源が堅調であったものの、主力の表面処理用電源は、パソコン需要の減速を背景に基板関連の高精度な表面処理の需要が落ち込み、前期比で大幅に減少いたしました。さらに、医療機器向けや通信機器向けの小型組み込み電源が前年同期比で大幅な減収となりました。地域別の売上では、北米とアジアは前年同期を上回ったものの、販売比率の高い国内向けの販売減少が大きく影響いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は86億5千7百万円（前年同期比9.4%減少）となりました。セグメント利益は減収の影響が大きく、5億2千8百万円（前年同期比25.1%減少）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ32億8千3百万円減少し、320億5千万円となりました。これは主に売掛金が20億3千4百万円、電子記録債権が25億6千1百万円減少し、仕掛品が4億9千8百万円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ26億5千1百万円減少し、82億5千万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が10億3千1百万円、未払法人税等が8億8千8百万円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ6億3千2百万円減少し、238億円となりました。これは主に利益剰余金が4億9百万円、為替換算調整勘定が2億1千4百万円減少したことによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月8日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日（2024年11月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,825	5,713
受取手形	457	346
売掛金	7,702	5,668
電子記録債権	4,278	1,717
商品及び製品	3,997	4,154
仕掛品	1,829	2,327
原材料及び貯蔵品	3,047	3,083
その他	284	490
貸倒引当金	△31	△15
流動資産合計	27,393	23,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,627	1,563
機械装置及び運搬具（純額）	619	624
土地	2,238	2,256
リース資産（純額）	339	470
建設仮勘定	711	1,078
その他（純額）	233	260
有形固定資産合計	5,770	6,253
無形固定資産		
のれん	16	12
その他	195	533
無形固定資産合計	211	546
投資その他の資産		
投資有価証券	213	171
繰延税金資産	689	562
退職給付に係る資産	797	815
その他	259	212
投資その他の資産合計	1,959	1,762
固定資産合計	7,941	8,562
資産合計	35,334	32,050

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,850	2,819
電子記録債務	405	276
短期借入金	1,000	1,000
未払金	1,394	1,008
未払費用	723	701
未払法人税等	1,001	113
契約負債	211	215
賞与引当金	895	770
製品保証引当金	44	41
受注損失引当金	73	98
その他	922	646
流動負債合計	10,522	7,691
固定負債		
リース債務	155	332
未払役員退職慰労金	68	68
繰延税金負債	9	12
役員株式報酬引当金	33	33
退職給付に係る負債	58	57
その他	54	55
固定負債合計	378	559
負債合計	10,901	8,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,755	2,755
利益剰余金	18,561	18,151
自己株式	△1,597	△1,597
株主資本合計	22,493	22,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	26
為替換算調整勘定	1,697	1,482
退職給付に係る調整累計額	213	206
その他の包括利益累計額合計	1,939	1,716
純資産合計	24,432	23,800
負債純資産合計	35,334	32,050

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	13,812	11,628
売上原価	10,247	8,869
売上総利益	3,564	2,758
販売費及び一般管理費	2,437	2,548
営業利益	1,127	209
営業外収益		
受取利息	6	14
受取配当金	0	1
受取賃貸料	6	7
受取損害賠償金	—	109
その他	86	37
営業外収益合計	100	169
営業外費用		
支払利息	11	8
持分法による投資損失	—	39
デリバティブ評価損	—	5
為替差損	39	0
その他	1	1
営業外費用合計	53	55
経常利益	1,174	323
税金等調整前中間純利益	1,174	323
法人税、住民税及び事業税	395	66
法人税等調整額	△48	129
法人税等合計	347	196
中間純利益	827	126
親会社株主に帰属する中間純利益	827	126

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益	827	126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△1
為替換算調整勘定	490	△214
退職給付に係る調整額	10	△6
その他の包括利益合計	509	△222
中間包括利益	1,336	△95
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,336	△95

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,174	323
減価償却費	474	442
のれん償却額	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	79	△122
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△6	△2
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	4	25
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△14	△27
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	△1
受取利息及び受取配当金	△7	△15
支払利息	11	8
持分法による投資損益 (△は益)	—	39
売上債権の増減額 (△は増加)	270	4,656
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,019	△747
仕入債務の増減額 (△は減少)	527	△1,125
未払費用の増減額 (△は減少)	63	△19
その他	507	△890
小計	1,074	2,529
利息及び配当金の受取額	6	15
利息の支払額	△11	△8
法人税等の支払額	△312	△919
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>757</b>	<b>1,616</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△563	△920
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△8	△315
その他	—	12
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△572</b>	<b>△1,224</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,000	—
リース債務の返済による支出	△62	△49
セール・アンド・リースバックによる収入	—	179
配当金の支払額	△291	△536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>646</b>	<b>△406</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	148	△102
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>980</b>	<b>△115</b>
現金及び現金同等物の期首残高	3,959	5,825
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>4,939</b>	<b>5,709</b>

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	4,252	9,560	13,812	—	13,812
外部顧客への売上高	4,252	9,560	13,812	—	13,812
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,252	9,560	13,812	—	13,812
セグメント利益	421	705	1,127	—	1,127

（注）セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,971	8,657	11,628	—	11,628
外部顧客への売上高	2,971	8,657	11,628	—	11,628
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,971	8,657	11,628	—	11,628
セグメント利益又は損失 (△)	△318	528	209	—	209

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。